

## 1. 教育の責任

### — 「看護の入口」を担うという使命 —

私は基礎看護学領域を担当し、主に看護を学び始めた学生（主に2年次）を教育対象としている。本領域は、学生が看護の専門的知識・技術・態度を統合して体系的に触れる「看護の入口」であり、ここでの学びがその後の看護観や学修姿勢を大きく左右する。そのため私は、「始めが大事」という視点を重視し、学生が基礎看護技術に対して興味・関心を抱き、自ら学び続けようとする姿勢を育むことに教育的責任を感じている。

また、4年次の統合実習および卒業研究Ⅱも担当しており、1年次から積み重ねてきた学修を統合し、看護専門職としての成長を振り返り、次のステップへとつなげる支援も担っている。

## 2. 教育の理念

### — STUDY FOR LIFE を体現する教育 —

私の教育理念は、本学の建学の精神である **STUDY FOR LIFE** に基づいている。すなわち、

- 豊かな教養
- 専門的学術的基盤
- 旺盛な自己開発精神
- 問題解決力

を備え、生涯にわたり成長し続けることのできる人材の育成である。

その実現のために私は、「学生が基礎的能力と体験的学習を土台として、看護実践に必要な力を段階的に獲得していく教育」を重視し、知識の習得にとどまらない基礎看護技術における「看護実践力」の育成を目指している。

## 3. 教育の方法

### — 4つの力を循環させる学びのデザイン —

#### 1) 育成したい能力

私が育成を目指す中核的能力は、

- 観察力
- 説明能力
- コミュニケーション力
- 実践力

である。これらを個別に習得するのではなく、相互に関連づけながら循環的に高めていく学修プロセスを設計している。

#### 2) 科目を通じた段階的な学び

##### • 基礎看護技術Ⅲ

シミュレーション（事例展開）を用い、肺炎患者を想定した観察・情報収集・アセスメントを行い、問題解決思考を養う。この演習はジグソー法を用いグループワークの中でも説明能力を高めるために反転学習を取り入れている。

##### • 基礎看護技術Ⅳ

診療補助技術を中心に基礎看護技術の習得を行う。この演習でもジグソー法を用いグループワークを行う中で説明能力を高めるために反転学習を取り入れている。

また、看護技術の集大成のシミュレーションは「浣腸を実施後に腹部不快感を訴える患者」をテーマに演習を行い、診療の補助技術が身体侵襲に及ぼす影響を考える展開としている。

##### • 基礎看護学実習Ⅰ～Ⅲ

患者理解を基盤に、コミュニケーションから看護過程の展開、個別性を踏まえた日常生活援助の実践へと学びを発展させる。

● **統合実習・卒業研究Ⅱ**

高齢社会を背景とした保健・医療・看護の視点から、臨床と理論を往還しながら、看護実践力と探究力を統合的に高める。

**教育実践の工夫**

— 学生が主役となる学び —

**1) アクティブラーニングの導入**

- ジグソー学習法を用い、学生同士が教え合い・学び合う授業構成
- 演習では「教師役」の学生が事前に学修し、反転授業形式でデモンストレーションを実施
- 海外研修生とのグループワークを通じ、多文化的視点を取り入れた学び

**2) 双方向的な演習設計**

- シナリオに基づく事前学習と演習中のリフレクション

**3) ICT の活用**

- 課題配信、リフレクション提出、学習評価を Web 上で実施
- 基礎看護技術に必要なコンピテンシーを使用した PROG 評価を用いた学習到達度の可視化

**4. 教育の成果**

- 基礎看護技術Ⅳ（2年次）に看護技術習得に必要なコンピテンシーを参考に PROG 評価を学生に自己評価してもらい成長過程を確認する。
- 学習テーマごとに課題を集積した学習ポートフォリオは紙媒体で 100%提出され、学生の学びの過程を可視化できている。

**5. 改善への努力と今後の目標**

授業後の学生の感想は必ず次回授業の冒頭でフィードバックし、授業評価アンケートの結果も踏まえて授業設計を柔軟に改善している。

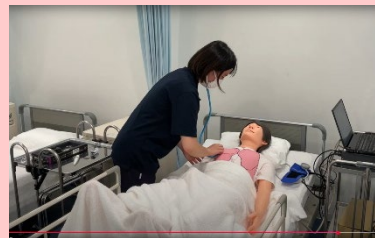
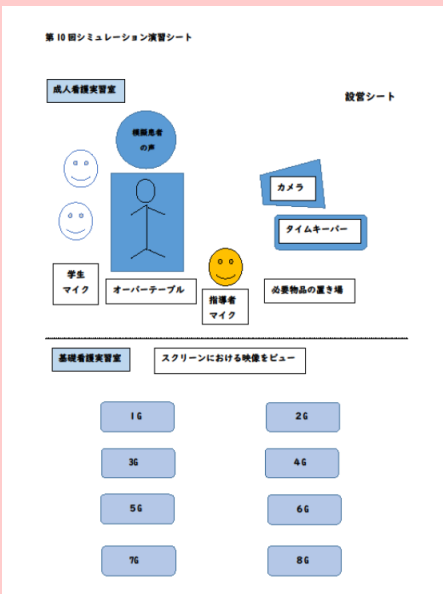
実習においては、臨地との協働関係を重視し、継続的な連携を強化してきた。今後は、新規実習施設においても円滑に協働関係を構築できる指導力の向上を目標とする。

また、ジグソー学習法や反転授業のさらなる洗練と、基礎看護学領域における「わかりやすく、親しみやすい教材開発」を継続的な自己研鑽課題として取り組んでいく。

【添付資料】



図1 ジグソー学習法の学習風景



↑代表者がシミュレーション演習



↑モニターで演習風景確認

図3 シミュレーション設営と演習風景

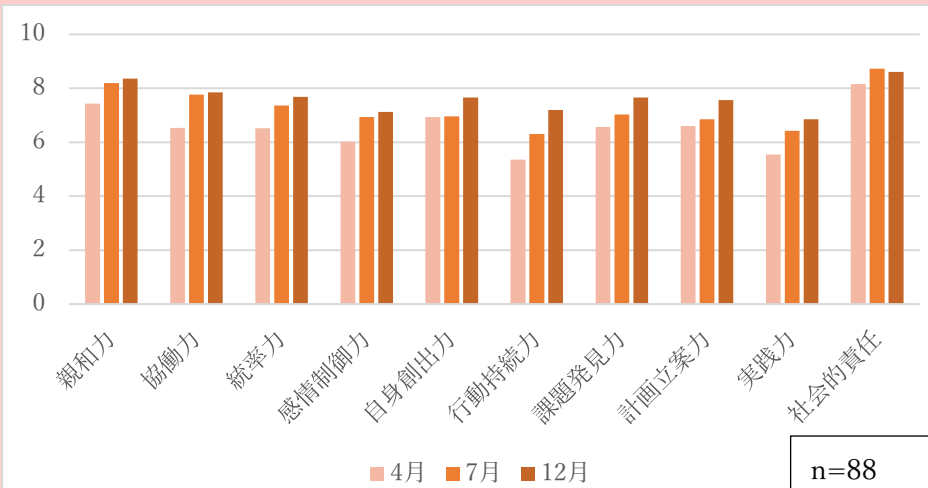


図4 コンピテンシーを基礎看護技術に編集した PROG 自己評価